

## Interview

地域で活躍する皆さんに共生社会への思いを聞きました。



フリーペーパー「hanpo」メンバー  
石田 悠真さん

### 認め合える ポジティブな環境に

自分の性自認に違和感を持ち、実は社会の中で性にまつわる生きづらさを感じている人は身近にいます。安曇野のような地方では都会に比べて「ここにいる」ということを言い出しにくい特性があると感じています。この計画をきっかけにすべての人が、初対面の人とのコミュニケーションのように「もっと知りたい」という気持ちで認め合えるポジティブな環境になって欲しいと思っています。10年後には誰もが認め合いながら生活できる先進的な地域になるように私もインターネットなどのメディアを通じて発信していきます。



ベトナム人エンジニア  
チャン ドウツク ヒエップさん

### 国籍を越えた仲間を 作りたい

3年前に日本で暮らし始めたころは、言葉や手続きはもちろんです。慣れ親しんだベトナムの食材を探すのが大変でした。慣れない環境でも同僚や日本語教室で出会った人たちと一緒に問題を解決しながら生活することで、今では安曇野での暮らしが充実しています。もっと多くの皆さんと関わり、学びたいことが沢山ありますが、外国人ということから敬遠されることも少なくありません。この計画をきっかけに安曇野の皆さんともしっかりと仲が深まる機会が増えることを期待しています。



市身体障がい者福祉協会  
森下 右里子さん

### フラットな関係を築いて 安心できる生活を

障がい者や認知症の人とその家族は生活上の壁を感じる事が多く、オープンな気持ちで暮らすことがなかなか難しいと感じています。これを解決するためには、物理的なUD化とともに心のUD化も大切だと思います。1つ1つの気づきと工夫を広げ、「困っている人を助けなきゃいけない」「見なきゃいけない」と個人で悩むのではなく、フラットな関係を作っていくことが大切だと思っています。この計画が誰もが安心して暮らせる社会への第一歩になればと期待しています。

### 参加者募集 性の多様性を学ぶためのセミナー LGBTと社会



日 4月25日(火) 13:30~15:00  
場 市役所4階大会議室  
講 宮井麻由子さん(唐澤佳秀法律事務所 弁護士)  
費 無料  
申 4月14日(金)までにながの電子申請サービスで  
(右上2次元コードから)  
問 人権共生課 TEL71-2406

※共生社会とは  
性別、性的指向・性自認、国籍や民族の違い、障がいの有無等にかかわらず、全ての人の人権が尊重され、あらゆる分野で、誰もが自分らしく輝ける社会が、市の考える「共生社会」です。

とめた「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」を策定しました。  
計画では「男女共同参画・多様な性を尊重するまちづくり」「多文化共生のまちづくり」「ユニバーサルデザインのまちづくり」の3つの基本方針に、計29の成果指標と、計115の具体的な施策を示し、本年4月から共生社会へのスタートを切ります。

## 基本理念

- ・人権の尊重
- ・多様性を活かした持続可能な地域づくり
- ・活躍の推進

本計画では、市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例に掲げた3つの基本理念に基づき、すべての人が認め合い責任を分かち合い自分らしく暮らせる共生社会を目指します。

## 目指す社会像

市民、事業者、教育関係者、行政の共通認識を深め、共に進めていくため、本計画の目指す社会像として「誰もが輝ける共生社会 安曇野」を掲げます。

## 3つの基本方針

1. 男女共同参画・多様な性を尊重するまちづくり
2. 多文化共生のまちづくり
3. ユニバーサルデザイン(UD)のまちづくり

### 計画書の表紙絵

安曇野市在住のアーティスト カミジヨウミカさんに表紙絵と各章の扉絵4枚の計5作品を描いていただきました。計画書は市HPでご覧いただけます。概要版は、市役所、支所、図書館、公民館で閲覧できます。



問 人権共生課  
TEL 71・2406



# 4月からスタート 多様性を尊重し合う 共生社会づくり計画

誰一人取り残さない世界のために

平成27年、国連サミットにて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されているSDGsでは、前文で「誰一人取り残さない」と理念を掲げています。  
現在、ジェンダー、格差、教育、貧困など、人権と密接に関わるさまざまな問題が生じています。格差や貧困は、途上国だけでなく、日本を含めた先進国でも問題になっています。日本は、人権条約の実施を監視する条約機関から多くの勧告を受けていることから、人権政策に対して国際社会の声に耳を傾け、どのように取り組んでいくかが問われています。

すべての人が暮らしやすい安曇野へ

安曇野には、子どもから高齢者までさまざまな人が暮らしています。その中には障がいのある人、外国籍の人、生きづらさを抱えている皆さんがいます。

市は令和4年4月、すべての人が多様性を認め合い責任を分かち合い、自分らしく暮らせる社会づくりを目指し「市男女共同参画推進条例」を「市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」に改正しました。そして、令和5年度から令和9年度までに行う取り組みを目標ごとにま